

## 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6892-2077

四半期報告書提出予定日 平成28年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	4,116	△1.9	495	△50.2	486	△51.1	311	△49.2
27年2月期第3四半期	4,197	△15.8	995	△35.6	996	△35.5	613	△56.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	9.52	—
27年2月期第3四半期	18.73	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	5,027	4,087	81.3
27年2月期	5,236	3,988	76.2

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 4,087百万円 27年2月期 3,988百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	6.50	6.50
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年 2月期の業績予想(平成27年 3月 1日～平成28年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△0.9	900	△38.8	900	△39.4	600	△33.7	17.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成27年12月9日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行により、提出日現在の発行済株式総数が11,000,000株増加しております。通期業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該新株式の発行により増加した株式数を加味し、算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	32,738,211 株	27年2月期	32,738,211 株
28年2月期3Q	1,323 株	27年2月期	1,323 株
28年2月期3Q	32,736,888 株	27年2月期3Q	32,736,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費が回復基調で推移しており、また一部企業においても輸出や設備投資が増加していることで、緩やかな拡大が続いております。海外においては、米国経済が個人消費を中心として伸びた一方で、欧州経済は、低成長率にとどまりました。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、スマートフォンやタブレット等のスマートデバイスにおいて、端末自体の性能進化・通信インフラの発達に伴ったコンテンツやゲームの多様化が一段と進んでおり、世界規模でのユーザー数の拡大が期待されております。また、ゲーム専用機やブラウザゲームも、依然として底堅い人気に支えられおり、業界自体の多様化・拡大が続いております。

当社は、かかる経営環境下において、更なる事業及び収益の拡大を図るために、コンテンツ部門では、①『うたの☆プリンスさまっ♪』の売上拡大、5周年を契に“ムーブメント化”に全力を上げる ②『うたの☆プリンスさまっ♪』に並ぶ自社コンテンツの創出に向けた体制の整備 ③トレーディングカードゲーム『Z/X(ゼクス)』の更なる挑戦と、新シリーズ制作に向けた人員育成の3点、リアルグッズ部門の自社ライセンス製品では、①『うたの☆プリンスさまっ♪』5周年とTVアニメ3期の最大活用 ②メジャータイアップの実現 ③高価格帯ラインナップの展開と品質管理の確立の3点、他社ライセンス製品では、①ライセンス獲得強化 ②新定番ラインナップの創出とブランドアイテム化の2点、管理部門では、①福利厚生的高度化 ②自社ビルの収益化 ③BCP準備資金の内部留保推進と、災害演習のレベルアップ ④法務部門の機能強化の4点をそれぞれ今期の課題として推進しております。

次に、当第3四半期累計期間における部門毎の状況は以下のとおりであります。

#### (コンテンツ部門)

当社女性向けコンテンツ『うたの☆プリンスさまっ♪』では、プレイステーションポータブル専用ソフト『うたの☆プリンスさまっ♪All Star After Secret』を3月12日に発売し、関連作品のバックオーダーも堅調に推移しました。『うたの☆プリンスさまっ♪』関連では、4月から6月にかけてTVアニメ第3期『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVEレボリューションズ』が放映されましたことと連動いたしまして、『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVEレボリューションズ アイドルソング』CDシリーズとして、4月22日の『クロスユニットアイドルソング 一十木音也・四ノ宮那月』から、6月3日の『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVEレボリューションズ アイドルソング 寿嶺二』まで計7作品を発売いたしました。このCDシリーズは、オリコン週間シングルランキングにて全てTOP10入りするなど、好調に推移しました。また、9月30日には、シャイニング事務所のアイドル総勢11人が歌う、超豪華シングルCD『Shining All Star CD』の第2弾を発売、11月18日には、「映画」をキーワードに展開するドラマCDシリーズ、うたの☆プリンスさまっ♪オフィシャルプロジェクト『シアターシャイニング』(期において、全4作品のリリースを予定しております。)のうち、第1作目の『うたの☆プリンスさまっ♪シアターシャイニング BLOODY SHADOWS』を発売し、オリコン週間アルバムランキング第4位にランクインするなど、順調な販売となっております。

その他の女性向けコンテンツでは、株式会社MAGES.原作の『明治東京恋伽』シリーズ第2弾、プレイステーションポータブル専用ソフト『明治東京恋伽 トワキライト・キス』を4月23日に発売しております。また、当社初の男性専属アーティスト蒼井翔太も、4月22日に1stフルアルバム『UNLIMITED』を発売し、オリコン週間アルバムランキング7位にランクインしており、5月には、2nd LIVE『UNLIMITED』をTOKYO DOME CITY HALLで開催し、約4,000名を動員しております。

一方、スマートフォン向けゲームアプリ『うた☆プリアアイランド』は、新機能の追加やコンテンツの拡充等、継続的なアップデートを行い、ユーザー数の維持・拡大に努めてまいりましたが、低調な課金率が続き、平成28年3月を以て終了する予定であります。これに伴いイニシャルコストの未償却分の減価償却を行い、損失を計上することとなりました。今後のゲームアプリTOTALの戦略としましては、他社との共同開発も含めて、より音楽性やゲーム性を追求した顧客満足度の高い新規タイトルを複数投入することを目指してまいります。

また、当社男性向けコンテンツでは、トレーディングカードゲーム『Z/X -Zillions of enemy X- (ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス)』シリーズのブースター第12弾『魔壘の人形姫 (まこのにんぎょうひめ)』を4月23日に、第13弾『変革の疾風 (へんかくのかぜ)』を7月16日に、EXパック第5弾『蒼海の大決闘』を8月20日に、第14弾『断罪の白焰弓 (だんざいの はくえんきゅう)』を10月22日に計画どおり発売いたしました。昨年以来の競合他社タイトル発売の中、苦戦が続いております。なお、株式会社タカラトミーの人気トレーディングカードゲーム『WIXOSS-ウィクロス-』とコラボレーションするなど新しい展開も予定しており、着実にユーザーのすそ野を広げ、唯一無二の新拡販策を継続して実施しております。

#### (リアルグッズ部門)

他社ライセンス製品は、男性向けコンテンツ市場がヒット作品に恵まれ活性化している事に伴い、人気イラストレーターteracco(てらこ)氏を起用した当社オリジナルデフォルメグッズシリーズ『chipicco(ちびっこ)』第1弾を10月に発売するなど、新規アイテムの発案・発売も行い、好調に推移いたしました。また、足元では女性層をターゲ

ットとした新ファッションライン『Daily Dream closet』を立ち上げ、第1弾として『ラブライブ! KiRa-KiRa Sensation! イメージトップス』を12月より発売するなど、来期に向けた展開も始めております。

自社ライセンス製品では、『うたの☆プリンスさまっ♪』関連グッズがTVアニメ第3期放映に伴い、店頭や通販での販売を強化したことや、『うたの☆プリンスさまっ♪』5周年記念イベント『シャイニングストアサテライト』(東京ビッグサイトにて7月25日開催)・コンセプトショップ『シャイニングストア』(東京原宿にて7月26日から10月25日まで開催)においてイベントでの販売も強化し、11月には当社オリジナルヘッドホン『PRINCE HEADPHONE』(全11種)を発売するなど、新規アイテムにも積極的に取り組みました結果、売上計画を上回り、過去最高売上を記録した昨年度売上に並ぶ高実績を上げております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,116百万円(前年同期比98.1%)、売上総利益率は35.1%(前年同期比11.0ポイントダウン)、売上総利益は1,442百万円(前年同期比74.5%)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、947百万円(前年同期比100.6%)となりました。

これら上述の要因などにより、営業利益は495百万円(前年同期比49.8%)、経常利益は486百万円(前年同期比48.9%)、四半期純利益は311百万円(前年同期比50.8%)と前年同期比では前第3四半期累計期間を、大きく下回って推移しておりますが、11月20日に発表いたしました株式会社ハピネットとの資本・業務提携に伴い、事業シナジーも含めて、相乗効果を早期に発揮できるよう、体制を整えてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,852百万円で、前事業年度末に比べ278百万円減少しております。現金及び預金の増加6百万円、売掛金の減少445百万円、商品及び製品の増加40百万円、仕掛品の増加124百万円が主な要因であります。

### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は2,175百万円で、前事業年度末に比べ70百万円増加しております。繰延税金資産の増加40百万円、長期前払費用の増加10百万円、出資金の増加7百万円が主な要因であります。

### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は876百万円で、前事業年度末に比べ332百万円減少しております。未払法人税等の減少473百万円、前受金の増加91百万円、返品調整引当金の増加7百万円、賞与引当金の増加6百万円、役員賞与引当金の減少23百万円が主な要因であります。

### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は63百万円で、前事業年度末に比べ25百万円増加しております。預かり保証金の増加40百万円、リース債務の減少14百万円が主な要因であります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は4,087百万円で、前事業年度末に比べ99百万円増加しております。これは、四半期純利益311百万円が計上された一方で、配当金の支払212百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期業績予想及び配当予定につきましては、業績予想の確度も増したことから、期初から第2四半期終了時までのレンジ形式での表示から単独数字での表示としております。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,852,997	1,859,514
売掛金	877,470	431,740
商品及び製品	126,762	167,152
仕掛品	100,105	224,326
原材料及び貯蔵品	3,414	1,396
その他	170,472	168,155
流動資産合計	3,131,222	2,852,285
固定資産		
有形固定資産		
建物	960,714	1,126,827
減価償却累計額	△26,038	△66,849
建物(純額)	934,676	1,059,978
土地	907,414	907,414
その他	79,020	95,065
減価償却累計額	△49,557	△60,714
その他(純額)	29,462	34,350
有形固定資産合計	1,871,553	2,001,743
無形固定資産	157,886	39,624
投資その他の資産		
その他	77,727	136,257
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	75,727	134,257
固定資産合計	2,105,168	2,175,625
資産合計	5,236,390	5,027,910
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	315,905	317,729
未払法人税等	473,258	-
返品調整引当金	34,978	42,603
賞与引当金	29,000	35,339
役員賞与引当金	37,000	13,600
その他	318,971	466,866
流動負債合計	1,209,113	876,139
固定負債		
その他	38,612	63,942
固定負債合計	38,612	63,942
負債合計	1,247,726	940,081



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,775	331,775
資本剰余金	37,127	37,127
利益剰余金	3,619,618	3,718,553
自己株式	△478	△478
株主資本合計	3,988,043	4,086,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	621	851
評価・換算差額等合計	621	851
純資産合計	3,988,664	4,087,829
負債純資産合計	5,236,390	5,027,910

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	4,197,813	4,116,647
売上原価	2,261,416	2,673,761
売上総利益	1,936,397	1,442,885
販売費及び一般管理費	941,207	947,256
営業利益	995,189	495,629
営業外収益		
受取利息及び配当金	962	526
不動産賃貸料	589	18,547
その他	1,109	2,077
営業外収益合計	2,661	21,151
営業外費用		
支払利息	1,361	1,181
不動産賃貸費用	228	28,770
その他	188	63
営業外費用合計	1,778	30,016
経常利益	996,073	486,764
特別利益		
投資有価証券売却益	-	94
特別利益合計	-	94
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純利益	996,073	486,859
法人税等	382,887	175,134
四半期純利益	613,185	311,724

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、平成27年11月20日開催の取締役会において、株式会社ハピネットとの間で資本業務提携契約の締結及び同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年12月9日に払込が完了しております。その概要は次のとおりです。

(1) 発行株式数及び種類	当社普通株式	11,000,000株
(2) 発行価額	1株につき金	369円
(3) 発行価額の総額		4,059,000,000円
(4) 発行価額の総額のうち資本へ組入れる額	増加する資本の額	2,029,500,000円
	増加する資本準備金の額	2,029,500,000円
(5) 募集方法	第三者割当の方式による	
(6) 払込期日	平成27年12月9日	
(7) 割当先及び割当株式数	株式会社ハピネット	11,000,000株
	本第三者割当増資後の所有議決権割合	25.18%
	発行済株式数に対する所有割合	25.15%
(8) 調達する資金の用途	コンテンツ開発費用と当該コンテンツを利用したマルチメディア展開費用、広告宣伝費用及びグッズデザイン・シナリオ制作等の体制整備・組織強化費用(部署の新設及び人員増強等)のための資金として使用いたします。	